



すわみつえ

Mitsue
Suwa
諏訪三津枝



日本共産党 鴻巣市議員

- 1956年・千葉県海上町(現・旭市)生まれ。銚子高等学校卒業
- KDD(現KDDI)24年間勤務。
介護福祉士・ケアマネジャーとして介護現場15年間勤務
鴻巣市介護認定調査員を1年間
- 2015年4月・鴻巣市議会議員に初当選。現在、鴻巣市議会
文教福祉常任委員。埼玉県中部環境保全組合議員

いつもまっすぐ
身近が一番

日本共産党 Japanese
Communist Party

すわみつえが実現 したいこと

次の4年間で

- 高すぎる国民健康保険税の引き下げと減免制度の拡充を
- 介護保険料・利用料の軽減をして誰でも希望する介護を受けられるように
- 介護予防、日常生活支援総合事業の充実を
- 病院建設で地域医療整備の充実を
- 休日当番医診療の医療機関を増やします
- 「学校は地域の宝」であり、防災の拠点です児童数が少ないことを理由とした小中学校の統廃合ではなく、小規模校の良さを生かした教育を進めます
- 子ども達に、安心安全な放課後児童クラブを
- 学校給食の無償化をめざします
- 新ごみ処理施設建設は市民の合意と納得で
- 公園は、地域の憩いの場、整備拡充を
- 憲法を守り平和で人権が尊重される社会の実現
- LGBTへの理解を広めます
- 鴻巣駅東口にエレベーターの設置を

消費税増税に反対します！

伊藤岳
参議院埼玉選挙区予
定候補と署名活動中

消費税は3%から5%に増税されたときも、8%に増税されたときも、私たちの暮らしや経済に大きな打撃を与えました。10%に増税されれば、ますます景気は後退し、私たちの暮らしを直撃します。消費税の増税は許すことはできません。



すわみつえ通信

号外 2019年4月
日本共産党市議会議員
諏訪三津枝

みなさんとともに要求を実現しました

小規模校(小中学校)存続で 地域を守る

地域から学校をなくさない、小中学校の統廃合ではなく小規模校の特色を生かした教育を求めて、毎回議会でも取り上げています。

休日当番医の診療機関増設において (2019年3月議会一般質問)

インフルエンザ等で混雑の実態を把握している市が、2019年度に休日当番医の診療機関を増やすことを医師会と検討する事になりました。

駅前駐輪場に学割制度を実現

(2018年3月議会一般質問)

(公財)自転車駐車場整備センターが管理・運営を行っている3駅8箇所の駐輪場で、大学生までの学生の定期利用者には20%割引が2019年10月1日開始で実現することになりました。

性的マイノリティ(LGBT)に関する 相談事業

(2017年9月議会にて一般質問)

専門の相談員を配置し、カウンセリング等を行うための予算化が行われました。

4年間の市議会で、質問や審議を通し、市民の代表として、身近な声を市政に届け、みなさまの要望を実現してきました。

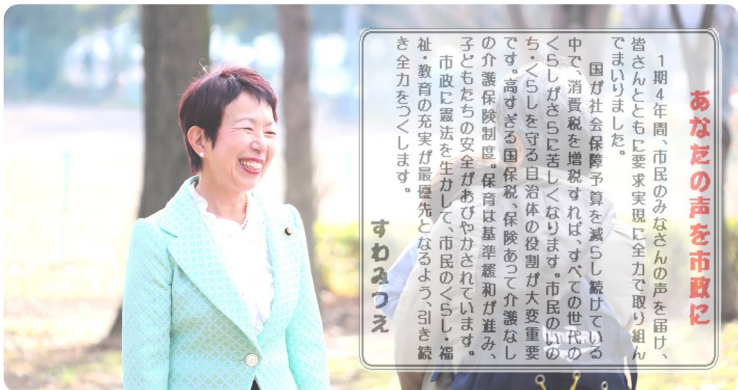


埼玉県内で初めて、 介護従事者への補助金を実現

毎回の議会で介護職の処遇改善を取り上げていますが、2019年度より鴻巣市内で夜間勤務(夜間業務サービス)を行っている介護事業所に、介護専門資格を持っている方が就職した場合、本人に10万円、鴻巣市内に転入し就職した場合は30万円の補助が出るようになりました。

赤見台近隣公園を存続

2014年に鴻巣市は突然、赤見台近隣公園を上尾中央医科グループに無償で貸与しての総合病院建設の計画を住民に示しました。災害避難所であり住民の憩いの場である公園を守る運動とともに、毎議会で質問を重ね市民の皆さんの声を届けました。上尾中央医科グループが建設費の課題から計画を断念したことにより、2000本の樹木とともに公園を守ることができました。



あなたの声を市政に

1期4年間、市民のみなさんの声を届け、皆さんとともに要求実現に全力で取り組んでまいりました。

国が社会保障予算を減らし続けている中で、消費税を増税すれば、すべての世代のくらしがさらに苦しくなります。市民のいのち・くらしを守る自治体の役割が大変重要です。高すぎる国保税、保険あつて介護なしの介護保険制度、保育は基準緩和が進み、子どもたちの安全がびやかくされています。市政に憲法を生かして、市民のくらし・福祉・教育の充実が最優先となるよう、引き続き全力をつくします。

すわみつえ